



ブランケットがあれば、少し寒くてもたちまちピクニック気分。上から、ブランケット134ユーロ/ **F** アソーレス諸島の男性たちが使っていた、お弁当を運ぶためのバスケット42.10ユーロ/ **C**



かつてポルトガルで定番だったおもちゃを20代の男性クリエイターが復刻させたミシンのおもちゃ6.70ユーロ、鍋敷きや鍋掴みとして活躍するカギ編みのミトン各20ユーロ/以上 **C**

ポルトガルにはさまざまな種類の羊が生息。手前から、仔羊の置物各1ユーロ、羊を背負った男性の置物2ユーロ/以上 **B** 背中に穴の開いた大人の羊は隠れた実力派。ピック&爪楊枝挿し38ユーロ/ **C**



手芸とカゴと焼きものと。

ときに武骨で温かく、ときにユニークな表情を見せる、素材の質感をめいっぱい生かした懐かしさを感じる素朴な日用品。



あの国民的お菓子が人気のあまり、陶器製のニセモノまで登場!? ニセモノは焦げ目がしっかり。フライパン形セラミック9.50ユーロ/ **B** フライパンの上ののった陶器のバステル・デ・ナタ (エッグタルト) 各10ユーロ/ **A**



猫とキッチン。

カリフラワーやイチゴ形のうつわ、動物形ピッチャーなど、大胆なデザインに思わず目が奪われるポルトガルの食器。なかでも岡尾美代子が気になるのは、やっぱり猫モチーフ。



前歯を見せて大笑い?!する猫のパッケージの中にはアンゴラの靴下。底にさりげなく入っている一見ライオンのような顔の猫プリントもキュート。靴下4足セット18ユーロ/👉



お手伝いさんや田舎のおばあちゃんに重宝される通称「バタ」。ちょっとダサがわな前合わせ式がポルトガル流。エプロン7.50ユーロ/👉



ポルトガルの名産品、缶詰にもアニメティックな猫。手前から、小サバのトマト味「Cavalinhas em Tomate」1.75ユーロ、小サバのピリ辛トマト味「Cavalinhas em Tomate Picante」1.76ユーロ、アジのピリ辛トマト味「Carapaus em Tomate Picante」2.25ユーロ、小サバのカレー味「Cavalinhas com Caril」1.99ユーロ/以上👉

ドアノブに袋をかけておくと、なじみのパン屋さんが焼きたてパンを入れてくれる独特の風習がかつてあった。丁寧に「Pão(パン)」と入った刺繍が愛らしい。パン袋各9ユーロ/🇵🇹



視線の先は、缶いっぱいに入ったAçúcar(砂糖)? 育ちがよさそうなお嬢様風の白猫と仲よく並ぶ真顔の猫。手前から、白猫の置物40ユーロ/🇵🇹 尻尾(取っ手)を掴んで注げば、おちょぼ口から中の液体が流れ出る猫形ビッチャー50ユーロ/🇵🇹 その他/スタイリスト私物



2羽の白鳥がくちばしを合わせて向かい合わせ。オールハンドメイドで緻密に編んだ、老舗レース専門店のコースター17.50ユーロ/🇵🇹



真っ白に塗られた素焼きのボウルに、大ぶりなパンと繊細なリネンを添えて。上から、クロス17.90ユーロ/🇵🇹 ボウル7.80ユーロ/🇵🇹 ナイフ/スタイリスト私物



昔ながらの建物や暮らしが息づくアルファマ地区。天気の良い日に街を歩けば、洗濯に動むお母さんたちに会えるかも。タオルと一緒にたなびくのは、若いデザイナーたちがデザインし、手芸上手なおばあちゃんたちが縫い上げた謎の生物。ボーダー柄を纏ったユニコーンのぬいぐるみ40ユーロ/⑩



レトロなソファを彩る、おばあちゃんの手作りアイテム。左から、三角形に大胆な花柄とカラフルなフリンジがあしらわれたクッション各25ユーロ、青に緑、オレンジと多種多様な色が盛り込まれたブランケット325ユーロ/以上⑩ その他/スタイリスト私物

作業用の小さなベンチ。ウールのクッションがすっぽり入るよう台座も型抜きされ、お茶目。クッションは温めて使うことができる。クッション付きスツール163ユーロ/⑤



新しいポルトガル。

新進気鋭デザイナーのアイデアと昔ながらの技法や技術を融合させた、新しいポルトガルのものづくりの形。



セラミックの長靴は、傘立てや花器にぴったり。アッパー部分に小さな穴が開いているため、フックを使って壁掛けにすることもできる。長靴形置物大25ユーロ、小17ユーロ/ともに③

赤いフェルトのマチが、ビ
ビッドな扉とバラに溶け込
む円形ショルダーバッグ。
白いステッチもチャーミン
グ。フェルト×カゴのバッ
グ120ユーロ/

